

【 授 業 計 画 】

(工業専門課程車体整備科) 令和6年度															
No	授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある 教員による授業	内 シ ラ バ ス 添 付	授 業 時 数
					講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任				
1	板金	車体の整備と検査、不正改造の防止、鋼板の損傷 板金作業 仕上げ作業、防錆、防水、防塵作業	1 通	48	○			○		○			○		
2	塗装	塗料の構成、前処理剤、下塗り塗料 中塗り塗料、上塗り塗料、塗料の乾燥機構 塗膜の欠陥と対策	1 通	48	○			○		○			○		
3	整備	車体の種類、モノコックボデー サイド・ボデーの構造、リヤ・ボデーの構造 車体の外装部品、ぎ装品の構造と機能	1 通	48	○			○		○			○	☆	48
4	材料	金属材料、金属の熱影響、鉄鋼材料、アル ミニウム、合成樹脂	1 ①	10	○			○		○			○		
5	溶接	電気抵抗スポット溶接、ガスシールドアーク 溶接、ガス溶接、電気アーク溶接	1 ①	12	○			○		○			○		
6	構造	車体整備の目的（整備、不正改造の防止） トラックの種類、分類、構造と機能	1 ②	20	○			○		○			○		
7	診断	乗用車の整備、計測、フレーム修正機による 整備、車体の損傷診断	1 ②	20	○			○		○			○		
8	修復	可搬式油圧ラムユニット、フレーム修正 機、トラックの整備	1 ②	20	○			○		○			○		
9	力学	自動車の強度、力学、はり、モーメント、 自動車の荷重分布状態の計算	1 ③	10	○			○		○			○		
10	検査	安全と衛生、道路運送車両法、車両法、保 安基準	1 ③	12	○			○		○			○		
11	機器	塗装設備、塗装機器、研磨機器	1 ③	12	○			○		○			○		
12	職場教養	職場においての各種実務	1 ②	20	○			○		○					
13	基本板金	板金基本作業（ハンマリング～パテ塗付） について理解する。	1 ①	32				○	○	○			○	☆	32
14	溶接・手仕上げ	溶接作業・板金ハンマの作成（ガンスタン ド・パネルスタンド作成）する。	1 ①	39				○	○	○			○	☆	39

【 授 業 計 画 】

(工業専門課程車体整備科) 令和6年度															
No	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業	内シラバス添付	授業時数
					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
15	板金①	板金作業（ハンマリング～プラサフ塗装）について理解する。	1①	50			○	○		○			○		
16	塗装①	塗装作業（下地処理～ソリッド・メタリック塗装）を理解する。計量調色が確実にできるようにする。	1①	66			○	○		○			○		
17	板金②	実車を用いての板金作業（ぎ装品取り外し～小ダメージ修復～プラサフ塗装）を理解する。引き出し板金についても確実に理解できるようにする。	1①	72			○	○		○			○		
18	塗装②	実車を用いての塗装作業（下地処理～微調色～上塗り塗装～磨き～組付け・完成検査）を理解する。微調色・ぼかし塗装についても確実に理解できるようにする。	1①	72			○	○		○			○		
19	外板交換	実車による中ダメージ板金作業（溶接パネル交換）について習得する。	1②	85			○	○		○			○	○	
20	塗装③	実車による中ダメージ塗装作業（微調色、ぼかし塗装&2パネル塗装）について習得する。	1②	85			○	○		○			○	○	
21	損傷修復	1. ボデー計測作業及びフレーム修正作業の習得 2. オリジナルデザインによるデザインプレートを作成について習得することを目指す。	1②	85			○	○		○			○		
22	損傷診断	板金見積りの理論・構成を理解し、損傷車両から指数テーブルを用いた板金見積書を作成することを目指す。	1②	32			○	○		○			○		
23	検査総合	実車による整備・板金塗装総合作業を理解し、スケジュール等のプランを立て、そのプランをもとに作業を実践することができる。	1③	168			○	○		○			○		
1066													3	119	

修業年限1年 23科目 1066単位時間

実務経験のある教員による授業 22科目 1046単位時間

シラバス添付 3科目 119単位時間

必須科目すべての履修完了、すべての試験合格が課程修了の条件。課程修了者に対し卒業認定とする。